

鈴鹿市立天栄中学校 学校運営協議会だより

第1号

令和7年6月16日発行
学校運営協議会事務局

学校運営協議会とは？ コミュニティ・スクールとは？

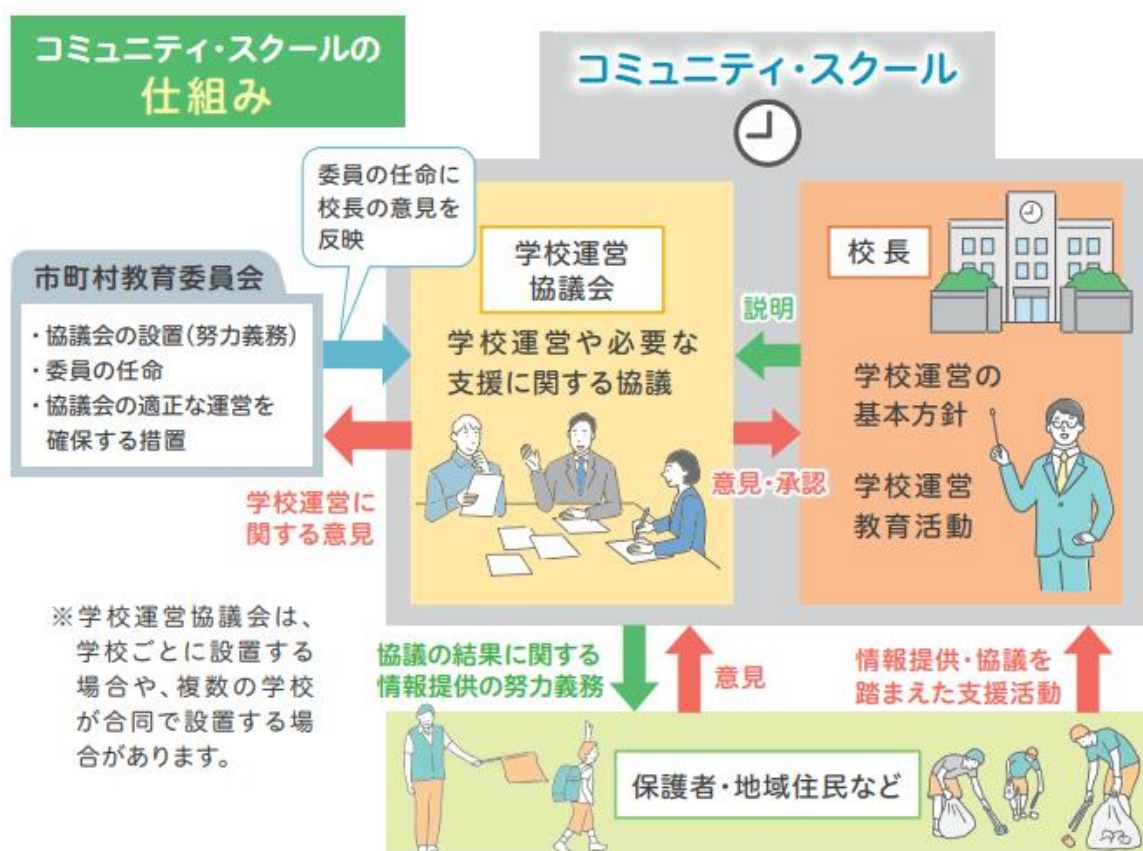
鈴鹿市では、すべての公立小中学校がコミュニティ・スクール（略称：CS）に指定され、地域に開かれた特色ある学校づくりをすすめています。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々など10人程度の委員によって構成される学校運営協議会が設置されている学校のことです。学校運営協議会では「どのような学校を創っていくのか。」「どのような子どもを育てていくのか。」といったことなど、様々な教育課題について、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で共に考え、知恵を出し合いながら熟議し、地域ぐるみの学校づくりに取り組んでいます。

この「学校運営協議会だより」では、年間6回開催予定の会議での協議内容等を中心に、コミュニティ・スクールとしての取組状況をお伝えします。

【会議開催予定日：5/30、6/13、10/7、11/4、2/10、3/13】

※天栄中学校区合同運営協議会が、10月7日に開催予定です。



<出典> 『広報すずか(2022.8.5号)から抜粋』

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kouhou/gyosei/open/shiryou/hakobutsu/koho2022/pdf/20220805/20220805-02-05.pdf>

第1回 学校運営協議会【5月30日(金)開催】(報告)

まず、委員長と副委員長の承認を行いました。

次に、学校側から各学年の生徒の様子や生徒数、年間計画等を説明した後、学校長から令和7年度の学校経営改革方針の説明を行い、委員の皆様からご意見をいただくとともに、審議を受けた後、承認されました。その後、学校配当予算の説明を行いました。

主要内容についてお知らせします。

1 委員の任命及び委員長・副委員長の承認

学校長より、委員長副委員長を推挙し委員の方々により承認された。

その後、各委員及び学校代表より自己紹介。

2 開会挨拶(学校運営協議会委員長)

委員長より、開会の挨拶

3 各学年主任から学年の様子等について

(1) 1学年主任より

スズカトでの集団宿泊学習では、本校で大切にしている「つながり」と「学び」について、校歌コンクールをはじめとしたクラス活動やオリエンテーリングなどのグループ活動を通して、協働的な学びを実感できた。1学年は、非常に活気がある学年であり、この活気の良さを体育祭で出していきたい。さらに、今後はメリハリもつけることができるよう成長して欲しい。6月下旬には、SNSの使い方についての出前講座を予定している。自分の感覚で良いと思ってやってきたことが、本当に良いことなのか判断できるようになることを期待している。

(2) 2学年主任より

中学校生活も2年目となり、じっくり考えて行動することが増えた。様々な場面で、ご家庭での声かけ等、ご協力いただいていると実感している。不安なことがあっても素直に話してくれるおかげで、次の対応や今後の改善点を見つけるきっかけとなったこともある。今週からの教育相談期間において生徒の声をしっかり聴いて対応していきたい。また、特別な支援が必要な生徒の居場所づくりに引き続き力を入れたい。誰もが快適に過ごせ、行事においても同じように参加できるように配慮していきたい。

(3) 3学年主任より

担任団が1年生から変わらず、生徒と関わってきたおかげで、深い信頼関係が積み上がっているように思う。2年生での名古屋班別学習では、時間が守れない場面もあったが、今回の修学旅行ではどの班別学習でも時間を意識して行動することができ、時間通りルールも守って活動することができていた。バスが天栄中に到着した際、保護者の方からの感謝の声を耳にし、職員一同、本当に有難かった。今後も頑張っ

4 生徒数・学級数・教職員数

学校長より、令和7年度の学校体制について報告。

(質疑応答)

○勤務する職員の人数に対して駐車スペースが確保されていない。改善が必要。

5 年間行事計画及び学校運営協議会開催日程等

学校長より、令和7年度年間行事計画、学校運営協議会開催日程、土曜日の教育活動

について報告。委員の方に廃品回収への協力依頼。その後、質疑応答。

(質疑応答概要)

- 拡大学校運営協議会では、講師の方からの話も大切だが、地域の人たちで義務教育学校や校区再編についてもっとフランクに話をするために時間を使いたい。
- グループ協議するならみんながしっかり話せるようにしてほしい。そのため、事務局側が司会と記録をしていただけると協議に集中できる。グループに入り、地域はどんな問題を抱えているのか、市教委や学校側が知る機会にすればよいのではないか。
- 稲生小は白子中と天栄中に分かれる校区を決めた方が地域の行事に参加しやすいのではないか。

6 学校経営方針等審議

学校長より、学校経営方針について説明。質疑応答、審議の後、出席された全員により承認された。

学校長の説明として、次の点について、特に説明をした。

- 学校経営方針の中で、「誰ひとり取り残さない授業づくり」の実現に向けて、グループを活用した協働課題を今年度も実践していくこと
- 地域に子どもが少なくなっている中で、地域の人が子どもを良く知り、育ててきた昔ながらの良さを大切にしながら、コミュニティ・スクールを進めていけたらと考えている。そのためには、中学生は小学生よりも難しい年代ではあるが、地域の方からも根気強く声をかけていただくと有難いと伝えた。
- 教育活動の推進計画では、学びの部会を中心に、校区で一体となって小中一貫教育を進めていきたいことや今年度はリーディング DX スクール事業を受けていることもあり、ICT の利活用を積極的に模索していきたい。
- 組織体制を構築、確立していくために職員全員が同じ情報をもって物事に対応できるよう、報告や情報共有を確実に行うとともに、口頭だけでなく、メモ等記録を残していくことを職員に周知している。
- 家庭学習の充実を図るため、小中連携の中で作成された「家庭学習の手引き」の見直しに力を入れたい。また、家庭への周知も確実にしていきたい。
- 職員の働き方改革については、職員の時間外勤務が多い状況がある。作業効率を上げるにはマニュアルが必要となる。マニュアルによって作業手順等を理解し、見通しをもって業務にあたることで、勤務時間の縮減につなげたい。

(質疑応答)

- 無理やり勤務時間縮減となると先生方も負担ではないか。事務量そのものを減らすことが大切。システム化できないか。
- システムを構築するには費用が必要であるが学校の配当予算では難しい。
- 市全体でシステム導入できればよい。天栄中の先生には子どもたちを見ることに専念してほしい。
- 先生方は仕事を持ち帰り、休みが取れていないのではないか。
- 年休は積極的に取得して欲しいと声かけを行っている。
- 休みを取らないことが文化になってしまっているのではないか。今後、教職を目指す人を増やすためにも文化を変えてほしい。

7 学校配当予算

教頭より、令和7年度の配当予算について報告。